

# NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2011年09月30日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。  
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2010000042"/> 整理番号 <input type="text" value="11540"/> 担当者 <input type="text" value="井上 典之"/>
表 題	<input type="text" value="細胞内脂肪滴膜に特異的局在を示す新規タンパク質"/>
技術分野	<input type="text" value="食品・バイオ"/> <input type="text" value="化学・薬品"/>
適用製品	<input type="text" value="脂肪滴検出、脂肪滴ターゲティング、メタボリックシンドローム研究・治療"/>
目 的	<input type="text" value="脂肪滴は脂肪貯蔵の他、オルガネラや脂質性活性物質の原料を提供するなど多彩な機能を持つ。脂肪滴への過剰な脂肪の蓄積は脂肪肝や肥満の分子病態であり、脂肪滴はメタボリックシンドローム治療のターゲットでもある。本発明は脂肪滴膜に特異的局在を示す新規タンパク質に関し、脂肪滴膜の描出技術を提供するだけでなく、タンパク質や薬剤などを脂肪滴へ人工的にターゲティングさせる技術も提供する。"/>
技術概要	<input type="text" value="本発明者は、C型肝炎ウイルス非構造タンパク質4BのN末端領域とC末端領域を適切に結合させた新規人工タンパク質が、ほぼ100%細胞内脂肪滴膜に局在することを見出した。新規タンパク質に蛍光カラータンパク質を融合させることによって、脂肪滴のみを特異的に可視化する技術を提供することが可能になった。また、新規タンパク質は他のタンパク質、例えば脂肪分解酵素なども自由に融合させることが可能であり、さらには化学的に薬剤などの低分子を結合させることも可能である。すなわち、本発明は酵素や薬剤を脂肪滴膜にターゲティングさせる技術を提供することが可能であり、細胞内脂肪滴のなんらかの変化や異常が関係する疾患、例えば脂肪肝や肥満、動脈硬化などメタボリックシンドロームの解析や治療法の開発研究において、本発明は有用なツールを提供できると考えられる。"/>

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp